

NPO 法人 やまぼうし自然学校

ニュースレター

2010年度 冬号

※東日本大震災を鑑み、例年より発行を遅らせました。次号は6月発行予定です。
また、次号より、一部の方にはメールでの配信とさせていただきます。



あなたが歩けば道になる (スノーシューハイキング in 根子岳)

代表理事よりご挨拶**



加々美貴代 (がみちゃん)

東日本大震災の被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。
「この道より 我を生かす道なし この道を歩く」(武者小路実篤)
ラジオから流れてきた言葉にはっとした。「私たち」にできること、もっと
小さいところで「私」にできることを考える。余震は相変わらず続き、自然
の「怖さ」が前面に出ているが、「やさしさ」「素晴らしさ」「面白さ」を
伝えるのが「自然学校」の役割と再認識した。自然とうまく付き合う知恵
や技術を自然の中から学び、子どもたちと分かち合い続けたい。

発行：特定非営利活動法人 やまぼうし自然学校
住所：〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1223-5751
TEL：0268-74-2735 FAX：0268-74-2795
Email：info@yamaboushi.org URL：http://yamaboushi.org

12, 1, 2月の実施事業

■事務局

チーム腹時計 (12月10日)、理事会 (12月12日)、研修会 (12月18日 合同)、インター
プリター評価会 (12月19日 合同)、定例総会 (2月11日) 雪上プログラムスキルアップ研修
(2月13日、14日、15日 長野)、

■体験学習

啓明学園初等学校 (12月8日、1月12日、2月23日、24日、25日)、宮崎県立門川高 (12
月14日 ノンスキー)、スキー指導研究会 (12月28日)、桐蔭学園中等教育学校 (1月10日)、
桐光学園中 (1月12日)、尚綱高 (1月15日 ノンスキー)、小川工業高 (1月19日 ノンスキー)、
白岡町立南中 (1月20日)、佐世保工業高 (1月20日 ノンスキー)、岩槻北陵高 (1月21日 ノ
ンスキー)、東村山市立第四中 (1月24日 ノンスキー)、東大和第一中 (1月25日)、洛西高 (1月
25日、26日 ノンスキー)、埼玉県立田辺高 (1月26日 ノンスキー)、大分県立竹田高 (1月30
日 ノンスキー)、野田市立木間ヶ瀬中 (1月31日)、上尾市立大谷中 (2月1日)、二松学舎大学附
属高 (2月3日)、甲府工業高 (2月4日 ノンスキー)、ティヤーナ国際学園 (2月6日)、国立音
楽大学附属小 (2月9日)、新宿区立落合中 (2月10日 東京)、淑徳小 (2月13日、14日)

■森でもりもり遊び隊/フォレストキッズ

森のクリスマス (12月5日 遊び隊)、クリスマスキャンドルづくり (12月19日 フォレスト
キッズ)、雪の森遊び その1 (1月16日 遊び隊)、どんど焼き (1月15日 フォレストキッズ)
雪の森遊び その2 (2月19日 遊び隊)、菅平高原スノーハイキング (2月26日 フォレスト
キッズ)

■イベント

しめ縄飾りと鏡餅づくり (12月11日 長野)、スノーキャンプ in 信州 菅平高原 (12月26日
~29日、1月4日~7日 長野)、冬のいつでもガイド (12月29日、1月28日、2月13日、
2月22日 長野)、しのばずの池水鳥観察会 (1月25日、29日 東京)、イグルーキャンドルナ
イト (2月10日~13日 長野)、菅平高原スノーハイキング (2月26日 長野)、そば粉でクッ
キング (2月26日 東京)、スノーシューハイキング in 根子岳 (2月27日 長野)

■委託

黒川野外活動センターネイチャーボランティア (12月4日、1月10日、2月6日)、長野大学
企業・NPO プレ・インターンシップ講義 (12月22日 長野)、川西公民館 スノーシュー (2月
5日 長野)、関西ツーリスト スノーシュー (2月5日、2月26日 長野)、よつ葉の会 ス
ノーシュー (2月6日 長野)

「今」を感じて生きる

「いつも、先のことばかり考えて生きている気がする。そうするとさ、今を考えるのはいつなんだろう？って思う時があるんだ。」

友人がふと漏らした言葉に、言葉遊びのようでもあるが、おもしろい着眼点だなと思った。言われてみれば、例えば優秀な学校への入学など、目標に向かって努力することがよしとされ、「未来のための今」に必死になり「今のための今」を考えることってないのかもしれないなと思ったのである。



と、同時に、「今」は考えるものではなくて、感じるものではないかとも思った。森の中を探検している最中に、遠くでガサッと物音がして息をひそめる瞬間、流れ星が流れた瞬間、自然の作り出す芸術を見つけた瞬間、羽釜の蓋を持ち上げて、炊きたてご飯の香りがふわっと広がった瞬間……。ドキリとしたり、ワクワクしたり、きゅ〜んとしたり。英語でも、感動という単語は move=動くである。心が動く瞬間をたくさん感じることができたら、日常生活がどんどん楽しく、豊かなものになっていくと思う。



プログラムをしても、森の不思議に無感動だったり、無関心な参加者（特に子ども）と出会うことが多くなった。私も学生の頃 OJT をさせてもらったビジターセンターで、スタッフが「聞いて聞いて〜、さっき車の前にタヌキが出てきてさ〜」と興奮気味に話しているのを聞いた時、心が動かなかったのを覚えている。「ふ〜ん…クマならまだしもタヌキでしょ。」と思ったのだ。インタープリターを目指していた私でさえ、イマドキ（！）の学生だったのである。でも、今ならそのスタッフのワクワクした気持ちがわかる。たくさん心が動く経験をする、その瞬間を感じることができるようになる気がする。同じように心が動いた人に、共感もできるようになる。



これは、今まで挙げたようなポジティブなものだけではなく、ネガティブなものにもあてはまると思う。いやだ、嫌い、楽しくない……。そんな心の動きも、そこに存在することを認め、感じることができるようになりたいと思う。

そんなわけで、たくさんの素敵な「今」を、共有できる存在でありたいと願う私は今日も、小学生に「大人げない」と言われながら、面白い事を探して森をうろちょろするのである。ただ落ち着きがないだけじゃないの？という声には、耳をふさいでおこう……。

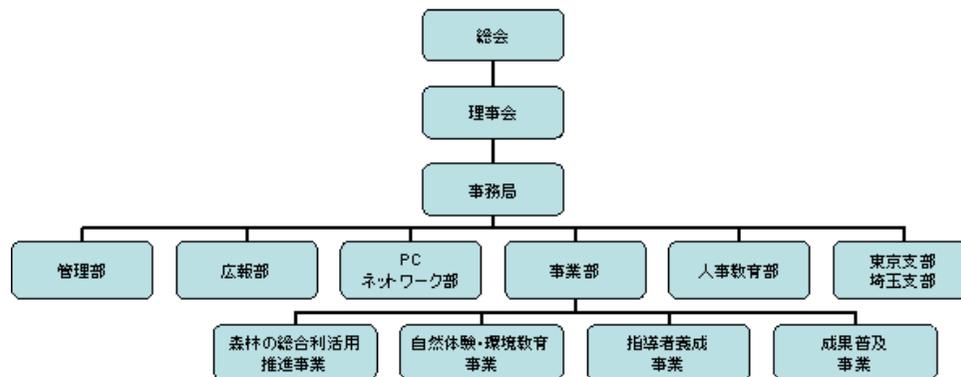


文・佐藤 明希

2010 年度総会を開催しました

去る、2011 年 2 月 11 日に 2010 年度総会を開催しました。

2010 年事業報告、2011 年事業計画などについて活発な議論が交わされました。NPO 認証 10 周年を迎え、次のステップへと躍進するために以下の新体制が整いました。「森とつながり、森と共にいけることのできる人を育てる」ことをミッション（使命）とし、「森でつながる いのちの わ」をキャッチフレーズに、2011 年度も楽しく活動していきます。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。



- | | |
|-------|------------------|
| 代表理事 | 加々美 貴代 |
| 副代表理事 | 長谷川 功 |
| | 石川 順子（首都圏東京支部長） |
| 事務局長 | 瑞慶覧 明子 |
| 理事 | 保母 裕美（経理担当） |
| | 仲川 好乃（首都圏埼玉支部長） |
| | 丹野 雅之（首都圏東京支部担当） |
| | 竹原 文子（上高地担当） |
| | 松田 俊雄（上高地担当） |
| | 岩岡 義雄 |
| | 笠原 文則 |
| 監事 | 半藤 英輝 |
| 顧問 | 大槻 幸一郎 |

2 ※この文章は、震災前に書きました。今、自分がどう生きていくかが問われていることを強く感じています。放射能汚染のニュースを聞くと、今、野外に子どもたちを連れ出すことに複雑な思いがあるのも事実です。でも、私は自然と共に生きる未来を、選択していきたいと思えます。

森でモリモリ遊び隊

12月4日 森のクリスマス 2010年も、雪と氷をものともしない大水路建設で締めくり&チョコフォンデュでモリークリスマス。
 1月16日 雪の森遊びその1 たっぶりすぎるパウダースノーを、泳いで、掘って、積んで、町や社長椅子ができたり、自分の部屋ができたり、雪風呂&雪崩シャンプー屋も開店！雪っておもしろい〜。



倒れた木、根っこがすごいよ



遊び隊は水流も自由に操る！



外で食べるチョコフォンデュ最高



座るだけで、社長になれるよ



地下通路だよ、いえ〜い



転がっても楽しい滑り台！

フォレストキッズ

12月19日 クリスマスキャンドルづくり
 1月15日 どんと焼き 無病息災を願い、お餅・ウインナー・おかしみかん・・・色々なものを焼いて食べました。
 2月26日 菅平高原スノーハイキング 丸1日、大雪原を満喫しました。



素敵なお木の実をたくさん拾ったよ



クリスマスキャンドル、完成！



どんと焼き、うまく点火できた？



お餅、早く焼けないかな〜



雪の森で、おしりすべり〜



真っ白なキャンパスに・・・

イベントレポート 東京支部

しのばすの池 水鳥観察会&会席ランチ (11.01.25、01.30)

寒さも吹き飛ばす、真冬の自然観察会。寛永寺からはじまり、知られざるスポット「国際こども図書館」では、設備の素晴らしさ、旧帝国図書館の佇まいを活かした安藤忠雄建築に見とれてしまいました。奏楽堂を経て黒門を見上げながら東照宮へ。



文：石川 順子



300年以上上野の森を見守る上野大仏は、知らなかった参加者がたくさんいらっしゃいました。比叡山や京都に模して東叡山の建立舞台造りの寛永寺・清水観音堂では、「上野の鐘」の音が丁度タイミングよく鳴り、一同聞き入りました。



お待ちかねの会席ランチは韻松亭にて。わいわい歓談しながらだといっそうおいしくなるんです。煎り大豆の炊き込みご飯も絶品！

午後の水鳥観察は、しのばすの池にて。双眼鏡なしでも間近に観察できる、絶好のスポットなのです。オナガガモやマガモ、ユリカモメなどたくさん水鳥をじっくり観察することができました。



最後に旧岩崎邸を見学した後、庭園で温かいお茶で一杯しておひらきとなりました。地元の方には新発見あり、遠方で「上野は修学旅行以来」という方にも見どころ満載の一日でした。今度は野川でお待ちしています！



「逢わんとぞ思ふ」
池田まさ子・画
バステル

佐久市在住。やまぼうし会員の奥様。森の温かみに触れたことがきっかけで始めたバステル画。やわらかい色彩とタッチは、本人からにじみ出たもの。毎月届けられる作品を楽しみにしている保育園もある。

やまぼうし自然学校 インタープリター養成講座

来年度の長野本校では、やまぼうし自然学校インタープリターとして大活躍すること、森遊びの達人になることを目指す講座を開催します。ぜひ一緒に、森とつながる活動を楽しみませんか？全5回（1～4回＋オプション講座1回）にご参加いただくと、自然体験活動推進協議会（CONE）認定の「CONEリーダー」を取得することができます（登録費別途）。詳細はホームページをご覧ください。

- ・参加費 10,000円（全5回）
- ・年齢、野外経験は問いません
- ・毎回、週末と平日に同じ内容で開講
- ・各回参加も可
（第1～4回：2,000円/回、オプション：3,000円/回）
- ・上田市菅平高原のフィールドを中心に開講します



こんなことが学べます

第1回	やまぼうし流インタープリテーション	4月
第2回	目指せキャンプの達人！キャンプ技術の習得	7月
第3回	プログラムの実践力	9月
第4回	森を守る、育てる、活用するための森林整備 オプション講座	11月
	観察プログラムにおけるインタープリテーション （森林、土壌、野鳥より選択）	6～9月

インタープリターとは・・・

インタープリターには、通訳者という意味があります。やまぼうし自然学校インタープリターは、自然の言葉を人間の言葉に翻訳する「森の通訳」＝「森の案内人」です。自然の不思議に詳しいだけでなく、参加者を楽しませたり、主体性を引き出したり、自然からのメッセージを効果的に伝えたりする能力が必要です。

第2回のご案内

2011年7月2日(土)、または6日(水) 10:00-16:00

- 「キャンプシーズン直前！目指せキャンプの達人」
- ・キャンププログラムで大切にしていること
 - ・道具の取り扱い ・テントのたてかた
 - ・使える！ロープワーク ・野外料理

お申込み 開講日の3日前までに、ご希望の日程をHPの申込みフォーム、メール、電話、FAXにてお申込みください。両日同じ内容です。

ヒントになったの、なあんだ？

2011年3月6日、7日に行った「森を楽しむ講座」のガイダンスで、山形大学の小山先生に基調講演をしていただきました。その中で、生物が持つ機能に着目してものづくりに生かす開発技術「バイオメティクス（生物模倣）」についてのお話がとてもおもしろかったので、いくつかご紹介します。写真の生物をヒントに、つくられたもの、なんだかわかりますか？

①アルソミトラ（熱帯の蔓の種）



②ハコフグ



③フクロウ



④オナモミ



次回の「森を楽しむ講座」は・・・

■森林インストラクターチャレンジコース

6月4日（土）、6月5日（日）

■都内森めぐりコース

6月16日（木）

新宿御苑

※詳細は、お問い合わせください。
やまぼうし自然学校ホームページにも掲載しています。

クイズの答え

- ①ハングライダー
1m落下すると4m滑空できる種子の構造を研究して造られた
- ②乗用車
箱形なので車内空間は広くとれ、泳ぐために流線形となっているので空気抵抗が少ない
- ③500系新幹線のパンタグラフ
音を立てずに飛べるフクロウの羽を参考に、支柱にギザギザをつけて騒音の抑制に成功
- ④マジックテープ
無数の鉤で動物の毛などにくっつく構造をヒントに「魔法の面ファスナー」として開発

やまびこだよりに紹介されました

上田市の丸子北中学校で行っている「コスモス大学・森林学科」の活動の様子が、長野県社会福祉協議会のおたより（右下）に紹介されました。里山の自然が特集テーマで、中学生向けに分かりやすく書かれていますので、一部ですがご紹介します。

コスモス大学は、地域住民と生徒が一緒になって学習や校外で体験学習をすることを通して、豊かな人間性や総合的な学力を身につけ、地域住民と学校が連携して地域に開かれた学校づくりと、明るく豊かなまちづくりを進める学舎のことで。地域の達人や人生の先輩を大学の講師に迎え、生徒が企画運営をする画期的な楽しい大学です（丸子北中ホームページより）。やまぼうし自然学校は、5年前から森林学科を担当し、森林整備や竹林整備、間伐材を使ったおやつ作り等を23年度も実施します。

やまびこだよりに
No.119

特集
テーマ

平成23年1月20日発行（昭和51年12月1日発行）

中学生ボランティア新聞

里山の自然・私たちの生活

社会福祉法人 ふれあいネットワーク
長野県社会福祉協議会



ほらっちゃん

里山がもつ役割



- 雑木林**：クヌギやコナラなどの広葉樹が主で、さまざまな木が入りまじって生えている林。
- 自然環境の保全**：里山に森林があることで、水を蓄え、災害防止や水源の保全等の役割を担っています。
- 伝統文化の保全**：里山に森林があることで、水を蓄え、災害防止や水源の保全等の役割を担っています。
- 水源のかん養**：里山に森林があることで、水を蓄え、災害防止や水源の保全等の役割を担っています。
- 洪水の防止**：里山に森林があることで、水を蓄え、災害防止や水源の保全等の役割を担っています。
- 多様な動植物の生育の場**：里山に森林があることで、水を蓄え、災害防止や水源の保全等の役割を担っています。
- 植林**：家をつくるため木材用の木を育てる林。県内では主にスギやヒノキ、カラマツなどの針葉樹。
- 木材資源の生産**：家をつくるため木材用の木を育てる林。県内では主にスギやヒノキ、カラマツなどの針葉樹。
- リフレッシュ空間**：家をつくるため木材用の木を育てる林。県内では主にスギやヒノキ、カラマツなどの針葉樹。
- 大気浄化**：家をつくるため木材用の木を育てる林。県内では主にスギやヒノキ、カラマツなどの針葉樹。

森林整備 ボランティアで 里山の森を元気に!

NPO法人 信州フォレストワーク

県内の民有林（国有林を除く森林）の約半分以上を占めているのが、植林地（人工林）です。現在、植林されたスギやヒノキ、カラマツなどは植えてから36年～50年経っているものが多く、県内でも間伐を中心とした森林整備を行う必要があります。けれども、高齢化や担い手が不足し、下草刈り、枝打ち、間伐など、適切な手入れが不十分のため、暗く貧弱な森林になっているところがあります。信州フォレストワークは、荒廃した里山の森林を再生するため、森林ボランティアによる活動を行っています。

中島正博さん
NPO法人信州フォレストワーク 理事・環境省環境カウンセラー

間伐材を使ったクラフト講座

Volunteer Report

里山に入り、森林に手を加えることによって豊かな自然が保たれます。

みんなの森づくり入門講座

森林整備やこんな活動をしています

森林教室

樹出保生・産しの森づくり

里地里山って、どんなところ?

「里地里山」とは、田んぼや畑の耕作地と人々が暮らす集落、周辺の雑木林や植林、草地などを含む場所のことを指します。平地では田畑をつくり、その周辺の雑木林から薪や炭、その他生活に必要な衣類や道具の材料を得ていました。日常生活に必要なものを得るために薪や炭を得るために育てられたのが「雑木林」です。また、家や家具をつくるためにスギやヒノキを育てる林を「植林」と呼んでいます。季節の山菜や薬草にさまざまな植物がたくさん獲れ、人々は生活に役立てていました。

日本では森林を利用し、木を伐っては植え、伐っては植えを繰り返しながら、住宅用建材、家具、紙、木炭など、生活の中さまざまな形で木を使う、木の文化を生み出してきました。木は繰り返し再生が可能となる資源です。

私たちも里山整備活動をしています

上田市 丸子北中学校（上田市）

「丸子コスモス大学」森林学科

2010年で5年目を迎えた森林学科では、NPO法人やまぼうし自然学校の方を講師に迎え、地元の森を元気にしようと、学校の近くにある「龍願寺」裏の山の下草刈りや間伐作業をしました。

「丸子コスモス大学」は、総合的な学習の時間に、森林体験、環境学習、交流、おやき作りなど地域住民と生徒が一緒に学習や校外で体験学習を行っている学校です。4年17学科で構成され、地域の達人や人生の先輩を大学の講師に迎え、生徒が企画運営をしています。

参加した生徒より「作業を終えた後、林が明るくなりました。これで木が大きくなり、きのこなども出るようになるかと思うと、大変だったけれど、活動してよかったです」

message

里山の野生動物と共存していくために

後藤光早さん（ワイルドライフサービス代表/長野県動物保護員/ハンター）

インシシ捕獲用のワナにかかったツキノクグマ、後藤さんが救助で獲らせ、離れた山に帰されました。

インシシに獲られた田のまわり

たがいま電気柵を設置中

最近、長野県内の中山間地では、クマ・シカ・イノシシ・ハクビシン・サルといった野生動物による農業被害が深刻です。また、動物たちが住宅地や通学路に出没して大騒ぎになることも増えました。こうした動物たちを捕獲したり、追い払ったりする防除対策が全面的に急がれています。捕獲するには狩猟者がいなければなりません。狩猟は人間がはるか昔から生きるために行ってきたことです。狩猟によって動物を獲って食べることは、山菜採りや魚釣りといったほかの命をもらって生きていくことができます。それをしっかりと理解した上で、「命」というものと真剣に向き合い、人間と野生動物がほどよい関係で共存していくために、みんな知恵を出していく必要があると思います。

野生動物の生態を子どもたちに伝える後藤さん

野生動物による被害がなぜ増えたんだろう?

考えられる原因

- 狩猟する人が少なくなり、野生動物が増え、人間に対する恐れや警戒心が薄くなった。
- 中山間地域の過疎化や高齢化により耕作放棄地が増え、炭焼きや森林整備などで人が里山に入ることも少なくなり、山と山が繋がって動物たちの行動範囲が広がった。
- クマの食糧となる木の裏（ドンクリなど）が山で不作の年々里山に出没することが多い。

野生動物の被害を防除するためには?

- 狩猟する（捕獲のプロ）を増やす
捕獲した動物は、学習施設（人間は怖いものだと教え、離れた山に放す）したり、食肉にしたりする。
- 田畑のまわりには電気柵やわなを設置する
- 里山の森を手入れする など

ちよぽら・ワンポイント

- 1 里山の森の現状を知ろう
里山がいまどんな状態にあるのか、地域の人の話を聞いたり、実際に出かけたりしてみよう。
- 2 森林整備のボランティアに参加してみよう
- 3 里山にすむ鳥獣たちの生態を学ぼう
野山の動物や鳥は、何を食べ、どんな生活をしているのか、調べてみよう。
- 4 野山へ出かけたときはゴミは必ず持ち帰ろう
動物たちにゴミをあさられることがないようにしよう!

Let's TRY

里山を守るためにの巻

今、やまぼうしにできること

3月11日の震災後、私たちスタッフも、心がざわつく毎日でした。被災していない私たちにできることは何かと知恵をしぼり、動き出しましたのでご報告します。

- ①寝袋・・・キャンプで使っていた寝袋約60個を救援物資として、届けました。キャンプの思い出がたっぷりつまった寝袋が、楽しい夢を見るお手伝いができていますように。

②にこにこヘアゴム

アースデイin佐久の実行委員企画の景品として無償で提供しました。アースデイin佐久の収益は、全額「東日本大震災被災地ソーラー支援プロジェクト」の活動資金として現地に届けました。

<http://solarshien.web.fc2.com/index.html>



③はせじいの竹トンボ

会員さんが、RQ（市民災害救援センター）のボランティアに行くときに、300本の竹トンボと一緒に持って行ってくださいました。竹トンボをつめた段ボールにも応援メッセージを書きました。



④RQ本部ボランティア・・・すけちゃんが、RQ東京本部でボランティア

4月末の3日間、東京本部でボランティアをした。1日目7人、2日目6人、3日目3人。毎日メンバーが違った。やりたい！の意志ある面々が、何ができるのかもわからず集結。部屋を見回し、できそうなことをばばと話し、ばばと始める。3日間いたけれど、最後まで異空間感覚で任務を終えた。湧き上がるアイデアを形にする能力、仕事を探し見つける力、ふん詰まりを打ち砕くひらめき。東北に気持ちを送りながら動く心地よさがそこにはあった。日々の仕事よりよほどときばき動いた気がする。建物を出たら、ひとりの力ってちっぽけだな、と実感した。 http://www.ecotourism-center.jp/article.php/reliefe_01

この他にも、会員さんが被災地へ赴いた報告を共有したり、地元上田市で何かできないかと市民の集まりへ顔を出したり、「ミツバチの羽音と地球の回転」という自然エネルギーがテーマのドキュメンタリー映画をスタッフみんなで見に行ったりしました。人と人とのつながり、森とのつながりを、どんな形で復興への力とできるのか、私たちのこれからは、しっかり自分で選択していきたいです。

やってみて！野外レシピ

○● ジビエを食べよう！ シカバーガー ○●

■パテの準備

1. シカ肉を、ワイルドに且つなるべく細かいみじん切りにする
2. 玉ねぎを粗いみじん切りにし、炒める
3. 1と2を合わせ、おろしショウガと卵を加えてよく練る
4. パンの大きさに合わせて、小分けにし、火が通りやすいようにまん中はへこませておく
5. フライパンに薄く油をひいて、両面を良く焼き、お皿にとる
(その時にでた肉汁は、そのままフライパンに残しておく)



■ソースをつくり、材料を挟む

1. パテを焼いた時のフライパンに、ケチャップを入れる
※今回は、特製ヤマブドウ酒をケチャップの半量くらい入れてみました！
2. 弱火にかけながら、フライパンに残った肉汁、ケチャップをよく混ぜる
3. パンにパテを挟み、ソースをかける
※一緒に生野菜などを挟めば、より豪華になります
4. 大きな口を開けて、かぶりつく！

「おなかいっぱい食べた後は、森のこれからについてや、野生動物との共生についてじっくり語り合しましょう！」



新理事の!

いちおし自然体験



やまぼうし自然学校とは、2005年の森林インストラクター養成講座からお世話になっています。昨年10周年を迎え、さらなるステップアップの為に、知恵を出し合い、結果につなげていきたいと思ひます。「やまぼうしブランド」を作り上げるために、チャレンジしましょう!

笠原さんのいちおしは...

①溪流釣り 2時間~¥1,575 竿・しかけ代¥400

お客様と会員様が、気兼ねなく楽しく活動出来るやまぼうし自然学校を目指し、更なる発展につなげていきたいと思ひます。その実現に向けて微力ではありますが、頑張っていく所存ですので、この先任期2年間、ご指導とご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。いちおしプログラムは、1つに絞れませんでした!



岩岡さんのいちおしは↓

②デイキャンプ 4時間~¥2,635 ③里山登山(イベント) 大人¥2,000

①溪流釣り



②デイキャンプ



③里山登山(今春は夫神岳)



++++++会員と読者の交流ステージ++++++

湯川さん(インタープリター会員)、岩原さんより耳より情報

◆木曾川源流の里 水木沢天然林が4月23日(土)からオープンしています◆

木曾川源流のひとつである水木沢天然林が、今年もオープンしました!林内には、樹齢200年を超える木曾ヒノキやブナなどの天然林が広がり、中でも樹齢50年以上の大サワラは圧巻。新緑から夏、秋、冬と季節に合わせ姿を変え、訪れる人たちの心を癒してくれます。コースは「原始の森」「太古の森」の2つがあり、どちらのコース1時間半~2時間ほど。どなたでものんびり天然林トレッキングがお楽しみいただけます。さらに、地元のガイドが皆様のトレッキングをより魅力あるものに!天然林に暮らす生き物や草花、そして水木沢の歴史についてもご案内します。

12 水木沢天然林ガイドについてのお問合せ・お申込み
NPO法人 木曾川・水の始発駅 電話:0264-36-2772(担当:湯川、岩原)

イベント情報

やまぼうし自然学校の会員の方は...◆長野本校イベント 毎回参加費50%割引(半額!)
◆首都圏イベント 毎回参加費10%割引!さらに、3回参加で次回50%割引

♪ 元気な森づくり体験 Vol.1 ♪

ノコギリを腰に、ヘルメットを頭に身に着いたら、森づくり職人の第一歩。森に光を入れ、森を元気にする間伐作業を体験しませんか?道具はすべてご用意します。

日にち 6月12日(日)
時間 10:00 ~ 15:00
集合場所 上田市菅平高原
参加費 小学生以上 1,000円
申込締切 6月8日(水)

長野本校

※2011年度JT青少年育成に関するNPO助成事業
※お子様だけでもご参加いただけます(幼児不可)

♪ のんびり長ぐつ探検隊 ♪

幼児と保護者の森探検。のんびり探検した後の、森のティータイムもお楽しみに。

日時 6月25日(土) 10:00~昼食後解散
集合場所 上田市菅平高原 桑田の森駐車場
参加費 親子一組 1,000円
定員 幼児と保護者 10組
申込締切 6月22日(水)



長野本校

■ チーム腹時計 ■

NPOのお仕事体験!参加費無料!腹時計が鳴るまで、やまぼうし自然学校の外仕事や手仕事を体験。昼食には、薪で炊いたご飯と月替わりの具だくさん汁をご用意します。

日にち 6月13日(月)
7月11日(月)
時間 9:00 ~ 腹時計が鳴るまで
集合場所 上田市菅平高原 やまぼうし自然学校事務所
参加費 無料!(昼食付き)
申込締切 実施日の前日まで



長野本校

♪ 元気な森づくり体験 Vol.2 ♪

森づくりは、一度ではなく、続けることに意味があります。一ヶ月で移り変わる、森の四季も体いっぱい感じましょう。道具はすべてご用意します。

日にち 7月10日(日)
時間 10:00 ~ 15:00
集合場所 上田市菅平高原
参加費 小学生以上 1,000円
申込締切 7月6日(水)

長野本校

※2011年度JT青少年育成に関するNPO助成事業
※お子様だけでもご参加いただけます(幼児不可)

♪ サマーキャンプ in 信州 ★ 菅平高原 ♪

「やってみたい！」を大切に、沢も森も遊びつくす4日間。ちょっぴり不便なキャンプ生活も、不便を楽しみ、工夫とアイデアと森の恵みがあれば心地よくなることを体感するキャンプです。やまぼうし自然学校と宿泊施設、24時間寄り添うキャンプアシスタント。三者の万全の協力体制で初めてのお泊りも安心です。焚き火料理、たっぷり森遊び、豪快焚き火料理、テント泊、ものづくり、五右衛門風呂などなど。(主催：長野県旅行業協会)

日程 ① 7月24日(日)～27日(水) ② 7月27日(水)～30日(土)
③ 7月30日(土)～8月2日(火) ④ 8月2日(火)～5日(金)
⑤ 8月5日(金)～8日(月) ⑥ 8月8日(月)～11日(木)
⑦ 8月17日(水)～20日(土) ⑧ 8月20日(土)～23日(火)

宿泊 1日目と3日目は宿泊施設泊、2日目はテント泊
集合・解散場所 新宿駅または菅平高原
募集 30名
対象 小学1年生～6年生、中学生
参加費 参加費49,500円(食事、宿泊、指導、資料、保険込)
※菅平高原集合解散の場合 40,500円
お申込み 長野県学習旅行誘致推進協議会公式ホームページ
または、やまぼうし自然学校へ申込書を請求してください
申込締切 各コースの開催日1週間前

長野本校

♪ やまぼうし原人キャンプ ♪

むかしむかし、菅平高原には、森のめぐみに感謝しながらひっそり暮らす菅平原人がいたという。そんなご先祖の森で五感を研ぎ澄まし、大地を踏みしめる4日間。道具を操って原人グッズをつくったり、森遊び、沢のぼり、豪快原人焚き火料理、原人風呂などなど。最後の夜には「原人祭り」を復活させよう!

日程 8月12日(水)～15日(土)
宿泊 全泊テント泊
集合・解散場所 菅平高原または池袋駅
募集 30名
対象 小学1年生～6年生、中学生
参加費 参加費30,000円(食事、宿泊、指導、資料、保険込)
※池袋からご参加の方は、別途交通費3,220円が必要です
申込締切 7月31日(日)



長野本校

■ キャンプアシスタント募集中 ■

サマーキャンプ in 信州 菅平高原を、一緒につくってくれる
キャンプアシスタントを募集しています。詳細は、HPをご覧ください。

日程 7月24日(日)～8月23日(火)のサマーキャンプ in 信州開催日
時間 キャンプの集合(新宿または菅平高原)から解散、後片付けまで(3泊4日)
募集人数 各コース2～8名(参加者の人数によって異なります)
参加条件 ①希望コースの全日程参加可能なこと
②自然体験活動に必要な装備を揃えられること
③野外経験は不問。子ども目線で一緒に楽しむ好奇心が、旺盛なこと

スタッフよりひとこと

東日本大震災で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。
被災地の一日も早い復興をお祈りし、私たちもできることから動いていきます。



瑞慶賢明子 (すけちゃん)

「疑問にひとつずつ、丁寧にこたえながら進めていくといいんじゃない?これを省くと、「体験した」という事実しか残らない。」ハッとしました。見透かされたような気がした。初めて会った方から、1分とたたないうちにいただいた助言。分厚い経験が信念となったような人の言葉は、多くを語られずとも腑に落ちる。ありがとうございました。



佐藤明希 (あつきい)

念願の手づくり醤油が完成し、また夢が1つ叶った。震災後、一人では抱えきれない不安を分かち合うことのできる仲間存在と、音楽と、春の森の息吹に、たくさんの元気をもらった。「自分 = 自然の分身」という言葉を思い出した。お金や効率ではない価値が見直される時が来た。一歩ずつ、じっくりじんわり。



武重芽里 (めりちゃん)

マッチを擦れない我が子に驚いた記事が、新聞に掲載されていました。火を直接指で消そうとして、初めて火が熱い事を知った、とも。人間は、自分で思っているより沢山の事を学びながら育っているのですね。
※4月で退職し、新しい道に進むことになりました。ありがとうございました。



西澤純子 (じゅんじゅん)

もう何年も連絡を取っていなかった友達からの突然の電話やメール。どんなに離れていても、一度思いがひとつになれば必ず何かがつながっていると感じた時間。人とのつながり、森や自然とのつながり。精一杯感じながらまた一歩進んでいきたい。



保母裕美 (ほぼちゃん)

ひかひかの1年生だった娘が、元気に2年生になり「あそび隊のお知らせ学校でもらったから、友達も誘ったよ。一緒に行くって!」とうれしそうな声で報告。森遊びが気に入ってくれて、母の作戦も第1段階クリアでしょうか。



石川順子 (じゅんこさん)

GW 最終日。裏高尾へスタッフと出向いた。人気スポットも震災後はやや賑わいが陰ったようだが、この日は快晴ということもあり、駅前に人が溢れている光景に少しほっとした。一斉に芽吹いた新緑が美しい景信山に、目も心も癒された一日だった。



仲川好乃 (よっちゃん)

今年も、みどりのカーテンの準備をしました。
省エネ対策だけでなく、様々な効果をもたらせてくれて楽しんでいます。
一日も早く平穏な生活に戻れるよう願うばかりです。



長谷川功 (はせじい)

自分自身、若いと思っていました。頭も体も鍛えれば、無理がきくと思っていました。しかしリフト券購入の時、「シニア」であることに愕然。料金が安いのは歓迎なのですが、社会的にはシニアだったので。自分の一挙手一頭足、発言にも自覚をもち、慎重に、重厚に、自嘲しながら生きなければ…。
なんて、出来るかしら?まだまだ生臭い、はせじいです!